



こもんず

冬号 VOL.27

2016年3月15日発行

地域とのかかわりの中で子どもが育つ環境の整備は、子どもにも子育て家庭にとっても大切です。地域資源を活用した、子どもや親子が参加できる様々な体験型プログラムの企画、遊びの場の確保、気軽な集いや語らいの場が求められています。こもんずではこれからもこうした環境についてみなさんと一緒に考えながら、顔の見えるつながりを紡いでいきたいと思えます。



「こもんず☆カフェ」

ちょっとした悩みを、相談のプロがお聴きします…毎月行っています…

日時 4/25(月) 9～12時 水谷麻未先生 (子育て支援保育士)
 5/16(月) 10～12時 角田啓子先生 (臨床心理士)
 6/29(水) 9～12時 水谷麻未先生 (子育て支援保育士)

会場 小中台公民館

申込み E-mail : konakadaicommons@yahoo.co.jp

TEL : 090-7707-2175 (菊池まり)

※お名前・ご連絡先・希望日時をお知らせ下さい。日程等決まり次第、折り返しご連絡いたします。毎月行っていますので日程など申込先にお問い合わせください。

先生と相談者だけで1時間じっくりお話ができます。

お気軽にお申し込みください。

地域協力者会議 ・フォーラム 2016年3月2日(水) 14時～16時

参加者：桐原小中台中学校長・山口園生小学校長・中嶋小中台小学校長・金谷小中台公民館長・稲毛保健福祉センター健康課櫻井さん・園生小PTA石橋さん・小中台小PTA永嶋さん・小中台中PTA阿部さん・青柳青少年育成委員会長・子育てサポーター石津谷さん・生涯学習振興課・こもんず

＜地域協力者会議＞すべての家庭に家庭教育の情報・支援が届くために地域のいろいろな機関や団体の協力や連携が大きな力になります。例えばPTAサークルと共催で気軽な作業の後に子育て井戸端会議を継続して行っています。広報紙配布に協力して頂いている学校、保育所、幼稚園とも取り組みの共通理解を深めることが大切だと話し合いました。更に講座等に気軽に参加していただくために参加者に身近な会場の選択やテーマについて意見交換しました。つながりの場作りとつながるしくみ作りに一歩前進！次年度の活動につなげていきます。



＜家庭教育フォーラム＞ 家庭教育にかかわる課題について地域のいろいろな方が参加して話し合いました。今年のテーマは地域みんなで子育て。様々な意見を頂き次年度への課題になりました。

～こもんずの活動の中で、保護者の皆さんに参加して頂ける企画は～

- 講座 (子育て親育ち講座・子育て井戸端会議)
- こもんずカフェ (毎月1回3名の方の相談を受け付けています)
- 地域家庭教育フォーラム (年1回)

広報紙・チラシ・ホームページでお知らせします。気軽にご参加ください。

「子どもとかかわっている時の私の心とからだ」

第1回子育て中の心とからだ（28年1月26日）

講師 稲毛区健康課 保健師(2名)・看護師(1名)

●「女性のからだとホルモンについて」をテキスト『からだサポートブック 女性のための健康ガイド』を使って分かり易くお話して頂きました。

内容：・加齢とホルモン量の変化・月経のしくみ・妊娠の仕組み・月経周期・月経前症候群（PMS）と月経困難症について・健康を支える基本は生活習慣・更年期について・DVD 視聴と乳房模型による乳がん自己チェック法について教えて頂きました。

●井戸端会議

各グループに講師の保健師さんと看護師さんが加わり普段なかなか聞くことのできない体のこと、心の変化についてアドバイスを頂きとても勉強になりました。（参加者の声）



第2回心の動きの特徴を知ろう（28年2月15日）

講師 臨床心理士 稲岡郁子先生

小中台小学校就学時検診の講演の中の「5つの心の動きについて」を深めた内容でした。エゴグラムロールプレイを行い、今の自分の心の状態を映し出され「あー、やっぱり。えーそうなの」等客観的に自分を知ることができました。子育ての悩みの元が自分にあることを知って反省したり、自分の癖を見直して行こうと決心したり、解決の糸口を見いだすことができました。百聞は一見に如かず、悩んでいる時は一步踏み出して参加しては如何でしょう。

（～エゴグラム性格診断とはカナダ出身の精神科医エリック・バーンの交流分析の理論をベースに考案された性格分析手法です。エゴグラムでは私たちの心を5つの状態に分類しそのエネルギー配分をグラフ化することでその人の性格のクセを捉えます～）

今回の講座では自分自身を知ること、子どもとの関わり方を見直していく大切さを学びました。

「みんなで孫育て」

第1回 2/6(土)・第2回 2/20(土)

第1回 昔の子育て・今の子育て・どう違う？

～今こそ出番 見守り育むアレコレ～

内容 3人1グループ1分トークの井戸端会議

- 自己紹介（出身地・子ども時代の遊び）
- 昔の子育てから見えること
- 今の子育てから見えること
 - ・会う人の数は少ない・「責任」を求められる「子育て」・「親としての勤」より「ネットからの情報」・「うるさい！」と言われ、出かけられない親子・「サービスとしての要求」の多さ・「些細な事も相談できない孤独な子育て」等昔の子育てより過酷な実態
- 今私たちにできること？
 - ・赤ちゃんには「おめでとう」子どもには「いってらっしゃい、おかえり」の声かけと暖かい見守り・赤ちゃん、子どもの声に寛容になる・近所の親子と顔なじみに、何かあったらさりげなく声かけ・身近な関わりが、誰でもが住みやすい街・地域づくりの原点…等すぐに実践できる様々な意見が出ました。

第2回 地域皆で子育て ～多様な世代が関わり

あう社会でこどもの育ちを考える～

講師 臨床心理士 前田昭子先生

会場 小中台公民館講堂 参加者30名

●今どきの近所・子ども・家族から見えるもの→今の子供たちは、きれやすく、団欒も減り、時間・空間・物の共有が十分に出来ていない。

●子ども相談室から見えるもの→無気力・引きこもり・低い自己肯定感

●じじばば世代はサポート役として、出来ること→待つ・見守



る・邪魔をしない等頭において、「あなたはそのままでもいいじょうぶ」というメッセージを送り続けて行くこと。若い世代の応援団として接していくことが大切。

編集・発行 家庭教育支援チーム「こもんず」
事務局 千葉市稲毛区小中台9-30-1 園生小学校内

FAX 043-284-4971「こもんず」宛て明記
E-mail konakadaicommons@yahoo.co.jp
HP <http://konakadaicommons.jimdo.com/>